

取扱説明書

リクライニング車いす

くつろぎ22 / くつろぎ16



くつろぎ16



くつろぎ22

このたびはカワムラサイクルの車いすをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法
が記載されています。

取扱説明書は適宜更新しております。最新版を弊社ホームページからダウンロードしていただけます。

<https://www.kawamura-cycle.co.jp>

ご使用になる前に必ずお読みください。また、必要なときにいつでもご覧になれるところへ大切に保管
してください。

カワムラサイクル

● 目次 ●

	頁
安全に関するご注意	1.
1. 同梱部品の確認	6.
2. 各部名称	7.
3. お使いになる前に	8.
4. 各部の操作方法および使用方法	9.
5. ブレーキの使用方法	11.
6. 段差乗越え方法	11.
7. 点検・保守	12.
8. お手入れの方法	14.
9. 保管についてのお願い	14.
10. 車いすの主な乗り方	16.
11. 製品記録	16.
12. 仕様	17.
13. 保証とアフターサービス	18.

安全に関するご注意

※ご使用になる前に必ずお読みください。

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

〔表示マークの説明〕

※正しい取り扱いに関する必要事項をシンボルマークで表示しています。

 警告	取り扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。
 注意	取り扱いを誤った場合、障害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。
 禁止	してはいけないことを示しています。
 強制	必ずしなければならないことを示しています。

 警告 取り扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています	
 禁止	●エスカレーターでは使用しないでください。 介助者がいる場合でも、転倒などにより重大な事故のおそれがあります。
	●下記の場所には近づかないでください。 ・ エスカレーター ・ ぬかるみのある場所 ・ 凹凸の激しい場所 ・ 深い砂利道 ・ 凍結した道路や雪道 ・ 防護柵のない側溝や路肩付近 ・ 大きな段差 ・ 大きな溝 ・ 急な坂道 ・ 交通量の多い場所 ・ 混雑している場所 ・ 幅の狭い場所 ・ 夜間、雨や雪が降っているとき ・ 風が強かったり霧が深い日 ●勝手に改造・分解しないでください。 強度や耐久性が劣化して危険です。また、事故の原因になりますので、絶対に改造・分解しないでください。本来の装着品を外してのご利用も改造の対象となります。





警告

取り扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています

- 階段などで利用者を乗せたまま車いすを持ち上げる場合、固定されているパイプを3～4人でしっかり支えてください。

※肘掛（アームサポート）、脚部（レッグフットサポート）、押手（手押しハンドル）を持たないでください。これらの箇所を持ち上げると、車いすから外れるなど、大変危険です。



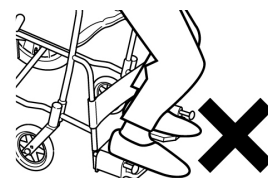
- 車いすを持ち上げる際に、車いすにお座りの方の体の一部を持たないでください。

- 車いすを火気に近づけないでください。

シート部が燃えたり、プラスチック等が変形したり、熱くなった金属部分でやけどするなど危険です。熱湯消毒についても同様です。



- 絶対にステップ板（フットサポート）の上に乗って車いすに乗り込んだり、降りられるときに立ち上がらないでください。車いすごと転倒し危険です。

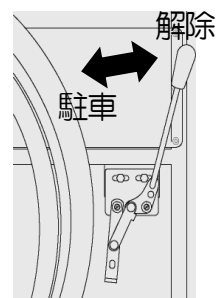


※車いすに乗り降りの際は、必ずステップ板（フットプレート）を上に乗ね上げてください。

- 車いすに乗り降りの際は、必ずブレーキをかけて車いすが固定されていることを確認してください。

- 傾斜地では、駐車しないでください。

傾斜地では、ブレーキをかけても車いすが動く場合があります、大変危険です。

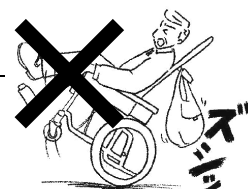


- 傾斜地での走行は、車いすが予想外の方向に進むなど大変危険です。

- すべりやすい床面や濡れている床面では、ブレーキをかけても車いすが動く場合があります。十分に気をつけてください。

- 回転している車輪や可動部に手や指を差し込まないでください。ケガの原因となります。また、タイヤを持って車輪を操作しないでください。ブレーキ等で指をはさみ、大変危険です。

- 複数の人数が載らないでください。この車いすは、一人用です。破損・事故の原因となります。

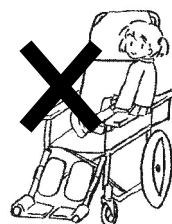


- 背もたれに重いものを引っ掛けたり、ポケットに重いものを入れないでください。

過度の荷物はバランスを崩し、転倒の原因となります。絶対に避けてください。

- 倒れ掛かるような急激な座り方はしないでください。

また、座シート部以外に腰かけないでください。転倒または壊れてケガをする恐れがあります。



禁止



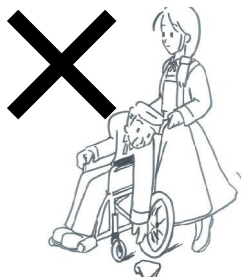
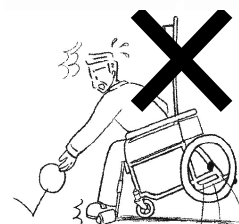
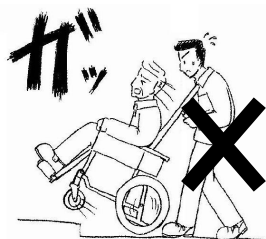
警告

取り扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています



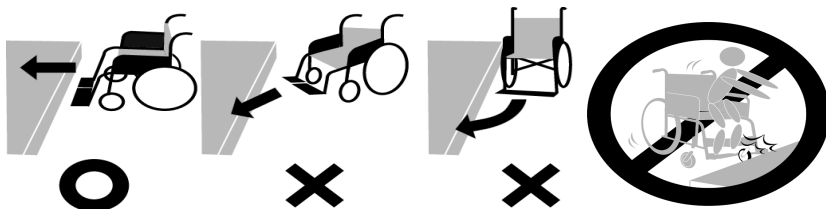
禁止

- 大きな段差のある場所・階段では使用しないでください。
- 段差を乗り越える際には、勢いをつけて乗り越えないでください。大変危険です。
また、フレーム及びキャスタ車輪等の故障の原因となります。
- 段差や凹凸などのある路面等を走行するときは、体が前のめりになりすぎたり、前キャスタを浮かせずすぎたりしないでください。また、車いすに乗ったまま前方の地面に置いてある物を拾う等、強い前傾姿勢をとらないでください。転落・転倒の原因となり大変危険です。
- 車いすでの走行中は、身体を乗り出さないでください。車いすが不安定になり危険です。
- 車いすに座ったまま前方の地面に置いてある物を拾う等、強い前傾姿勢をとらないでください。
車いすごと転倒し危険です。
- 介助者は、絶対に車いすに載って介助しないでください。

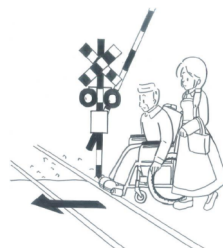


必ず守る

- この車いすは、室内用に設計されています。室内でお使いいただく事を推奨いたしますが、やむを得ず道路通行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。
- ご利用者の心身の状況、症状を十分考慮し、適切な介助を行ってください。
- 移乗の際は、介助者がしっかりと介護者を支えて行ってください。
- 発進するときや段差を乗り越えるときには、キャスタのタイヤが真っ直ぐになっていることを確認してから走行してください。
斜めに進入したり、キャスタタイヤが斜めになった状態で発進すると段差を乗り越えられなくなったり、キャスタの破損やキャスタからタイヤが外れる原因になったり、事故の原因となり大変危険です。



- 踏み切りを横断の際は、車輪をレールに対して直角にして走行してください。
斜めの角度で進入するとレールの溝にはまって危険です。必ず介助者と一緒にわたってください。





警告

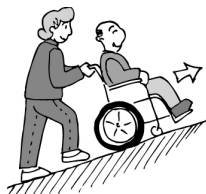
取り扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています



必ず守る

- 坂道の上り下りの際は、必ず介助者に支えてもらって走行してください。上るときは前向きで、下るときは後ろ向きで走行してください。

※坂道を前向きで下ると乗っている人が前へずり落ちる、前へ倒れる、スピードが出やすいなど、非常に不安定になり危険です。また、介助者がバランスを失った時も危険です。



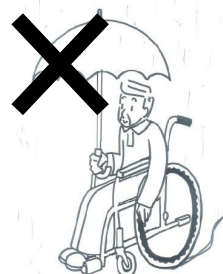
注意

取り扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。



禁止

- 本説明書に記載されている調整箇所以外の調整を行わないでください。
事故の原因となります。
- 小さなお子様には使用しないでください。
- リクライニング（背もたれを倒した）状態で走行しないでください。
転倒の恐れがあります。
- リクライニング機構（メカニカルロック）部に手や足を入れないでください。
- 急発進、急停車、急な方向転換をしないでください。
- 夜間、雨降りは外出をお控えください。
通行者や車から発見しにくくなり、事故の原因となります。
- 走行する際には片手で操作しないでください。
傘をさしながら、片手に荷物を持ちながらの片手操作ではバランスを崩す原因にもなります。両手で操作し、バランスを保ちながらゆっくりと走行してください。



- ブレーキレバーの作動方向以外に力を加えないでください。
また、必要以上に力を加えないでください。ブレーキが変形・破損する恐れがあります。
- 車いすを投げたり落としたり、衝撃を加えないでください。フレームが歪んだり、破損の原因となります。
- 車いすを物品運搬など車いす以外の目的に使用しないでください。

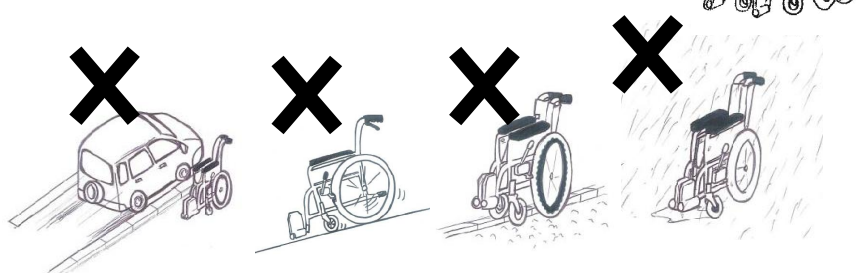
注 意

取り扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。

禁止

●下記のようなところに車いすを放置しないでください。

- ・ 車道に近いところ
- ・ 人通りのあるところ
- ・ 路面に段差や凹凸のあるところ
- ・ 湿気の多いところ
- ・ 雨風の当たるところ



必ず守る

●車いすに表示されている「使用者最大体重」は、積載物も含んだ重さです。最大体重を守ってください。

●認知証（痴呆症）の方がご使用される場合は、必ず介助者が付き添ってください。

また、車いすのシート、部品等を飲み込むことや一度かけた駐車ブレーキを不意に解除されることがありますので、充分ご注意ください。

●座面中央部に安定した姿勢で座ってください。

また、介助者は、ご利用者が安定した姿勢で座していることを確認してください。

●介助者は、ご利用者の身体の一部または衣服がタイヤ、スポーク、キャスト及び地面、建物、通行者に触れたり、挟まったりしないよう、車いすに安全に座れているか確認してから操作してください。

●安全ベルトは、必ず装着してください。

●ブレーキの効きが強すぎたり弱すぎる場合は、すぐに使用を中止して販売店にご相談ください。

そのまま使用を続けると事故の原因となります。

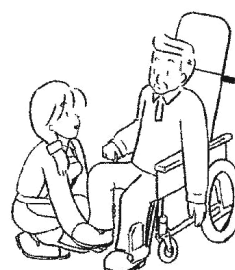
●ブレーキは必ず手で操作してください。

足などで操作するとブレーキが破損する恐れがあります。

●肘掛け（アームサポート）に腕を乗せたまま、肘掛け（アームサポート）を跳ね上げしないでください。

●肘掛け（アームサポート）を上げた状態でご使用ください。

転倒の原因となり、大変危険です。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。



必ず守る

- 走行中は、足を必ずステップ板（フットサポート）の上に載せておいてください。
※足を地面につけたりステップ板（フットサポート）から外すと、ステップ板（フットサポート）と地面の間に足が巻き込まれてケガをする恐れがあり、危険です。
- ステップ板（フットサポート）が障害物に接触しない高さで使用してください。
- ステップ板（フットサポート）に足をのせたまま、脚部（フットレッグサポート）を取り外ししないでください。
- 車いすに乗り降りの際は、必ずフットサポートを収納してください。
絶対にフットサポートの上に乗って車いすに乗り込んだり、立ち上がらないでください。転倒の原因となります。
- 段差の前では一旦停止してティッピングレバーを利用し乗越えてください。
- シートがやぶれた場合は、必ずシートを交換してください。また、故意にシートを切断する等の加工を絶対にしないでください。シートを破談したり、加工した状態でご使用されますとフレームが歪んだり、破断する原因となります。また、シート取付ネジが歪んだり、欠落すると事故の原因になります。
- 面ファスナーに糸くず、汚れなどが付いたときは取り除いてください。
取り除かないと、面ファスナーの接着力が弱くなり、事故の原因となります。



なお、この取扱説明書は、仕様変更などによりイラストや内容が一部実車と異なる場合があります。
※以上の注意点以外であっても、無理な使用はおやめください。事故の原因になります。

[製品の特徴・使用目的]

この商品は、ティルティング・リクライニング車いすです。

- 背もたれが倒れ、リラックスでき、前ズレしにくい設計です。
- この商品は、一人乗り用です。

1. 同梱部品の確認

本製品には、以下の部品が同梱されていますので確認してください。

- ・ 工具
- ・ 取扱説明書（保証書はがき）

2.各部名称



①押手（手押しハンドルグリップ）	介助者が車いすを移動させる際に握る部分です。
②背シート	背部がよりかかる場所です。（3段階調節）
③肘掛け（アームサポート）	肘を置いて身体を安定させます。（上下式）
④ステップ板（フットサポート）	足を置く場所です。
⑤キャスタ（前車輪）	自在に方向転換できる小車輪です。
⑥後車輪	駆動輪です。
⑦ティッピングレバー	段差を乗り越えるときなど、介助する方がキャスタ浮かすときに使います。
⑧エレベータingleバー	脚部を上げ下げできます。（エレベータingle機構）
⑨駐車ブレーキ	車いすを駐車するときに使います。
⑩ハンドリム	自走する際、握る場所です。（自走用のみ）
⑪リクライニングレバー	背もたれを倒すことができます。

3.お使いになる前に

車いすを使用する前に、安全のため各部の点検を行ってください。
長期間使用を続けると、劣化が生じます。

★装着品の確認

- ・ 背もたれは、しっかりと固定されていますか？
- ・ 肘掛け（アームサポート）は、しっかりと固定されていますか？
- ・ 脚部（フットレッグサポート）は、しっかりと固定されていますか？

★後車輪の確認

- ・ タイヤに空気が十分入っていますか？（タイヤを指で押しても容易にへこまないか）
- ・ バルブが緩んでいませんか？
- ・ タイヤにキズがありませんか？異物が刺さっていませんか？
- ・ タイヤの溝が十分残っていますか？変形していませんか？

★ブレーキの確認

- ・ 駐車ブレーキ（及び制動用ブレーキ）が正しく作動しますか？
- ・ ブレーキをかけた状態で後車輪が回転しませんか？

★肘掛け（アームサポート）

- ・ スムーズに（上下）作動できますか？
- ・ しっかりと固定できますか？
- ・ キズや亀裂等はありませんか？

★脚部（フットレッグサポート）

- ・ エレベーター（上下）できますか？
- ・ しっかりと固定できますか？
- ・ キズや亀裂等はありませんか？

★全体的に

- ・ ガタつきはありませんか？
- ・ まっすぐに走りますか？
- ・ 各部ボルトやナットが緩んでいませんか？
- ・ 背折れ金具がしっかりと固定されていますか？
- ・ 背クッション、座クッションがしっかりと取り付けられていますか？

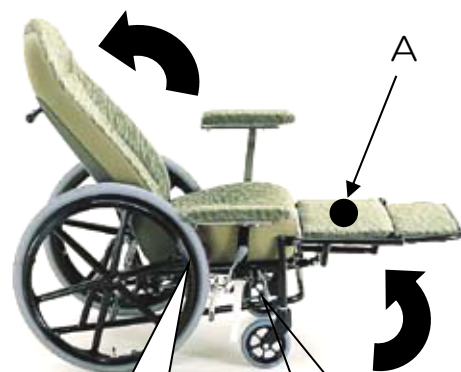
★介助者へ

- 長期間の使用や使用頻度によっては、ガスダンパーやキャスタ車輪、フットサポート、アームサポート等の劣化がすすむことがあります。使用前点検を励行してください。異常がある場合は、使用を中止してください。
- 次のような場所では必ず介助する人が付き添い、利用者の身体を支えるなど転倒防止に努めてください。
 - 急な坂道
 - 凹凸や段差のある場所
 - 踏み切りの横断、エレベーターの乗り降りなどの溝のある場所
 - その他危険が考えられる場所
- 車いすに載って介助しないでください。
- 利用者の身体の一部（手や足）及び衣服が、タイヤに触れたり挟まったりしないよう注意してください。
- 利用者の身体の一部（手や足）及び衣服が、建物、通行者及び地面に触れたり挟まったりしないように注意してください。
- 車いすに重い荷物を載せたり、押手に提げたりしないでください。

4.各部の操作方法及び使用方法

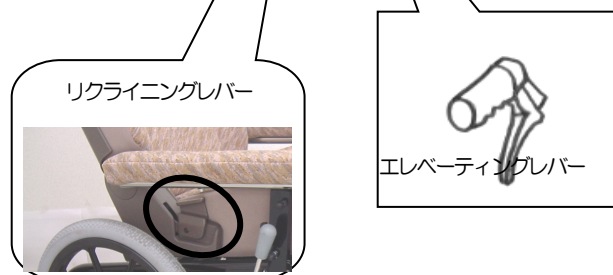
＜リクライニング＞

- 座面右下のリクライニングレバーを引きながら、もたれかかります。
- 適当な位置でレバーから手を離すと背もたれが固定されます。
- 背もたれを起こしたい場合は、背もたれに力をかけずにレバーを引きます。



＜エレベーターティング＞

- エレベーターティングレバーを握ると脚部が跳ね上がります。
 - 脚部を降ろす時は、エレベーターティングレバーを握りながら A のあたりを押し下げてください。
- ※下まで下げる場合は、ステップ板をたたまいと下がりません。



⚠ 注意

- パイプやレバーで手や衣服を挟まないようにご注意ください。

<肘掛け（アームサポート）>

- 肘掛け上下スライドレバーを引いて肘掛けを上下します。



注 意

- パイプやレバーで手や衣服を挟まないようにご注意ください。



肘掛け上下スライドレバー



<ステップ板（フットサポート）>

- 乗り降りの際には、ステップ板（フットサポート）を右図のように跳ね上げます。

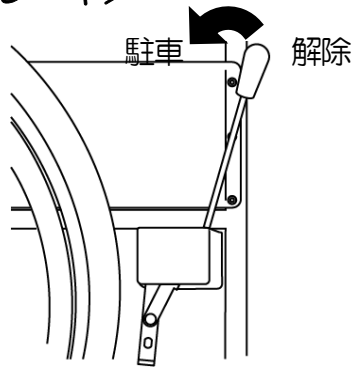


注 意

- 車いすに乗り降りの際は、必ずステップ板（フットサポート）を上跳ね上げてください。
- 絶対にステップ板（フットサポート）の上に立ち上がらないでください。車いすごと転倒し、大変危険です。

5.ブレーキの使用方法

＜駐車ブレーキ＞



ブレーキレバーを後方に引くとロックし、レバーを前方にすると解除されます。

⚠ 注意

- 車いすに乗り降りする際、一時停止する際は、必ず駐車ブレーキをかけて車いすが固定されていることを確認してください。
- 後輪の空気圧にご注意ください。
空気入タイヤ仕様の車いすをご使用の場合、空気圧が低すぎるとブレーキの効きが悪くなります。目安として、タイヤを手で押してもやや硬い程度（軟式野球ボール程度の硬さ）に空気を入れてください。
- 車いす乗降時には、必ず駐車ブレーキをかけ、車いすが固定されていることを確認してください。
- 傾斜地や平坦でないところでは駐車しないでください。
傾斜地や滑りやすい床面では駐車ブレーキをかけても車いすが動く場合があります、大変危険です。
- 駐車ブレーキのレバーは作動方向以外に力を加えないでください。
また、必要以上に力を加えないでください。ブレーキが変形・破損する恐れがあります。
- 駐車ブレーキは必ず手で操作してください。
足などで操作するとブレーキが破損する恐れがあります。



6.段差乗り越えの方法



段差の手前で、介助者が押手を押し下げながら、ティッピングレバーを脚で踏み、前輪を持ち上げます。

※押手（手押しハンドルグリップ）だけで前輪を浮かそうとしますと、破損の原因になりますので、必ずティッピングレバーを踏みながら行ってください。

7.点検・保守

1 ヶ月に一度は安全点検を行ってください!!

★タイヤに空気は十分入っていますか？



空気入タイヤをご使用の場合は、空気圧にご注意ください。

タイヤの性質上空気は自然と減っていくので1 ヶ月に1回は空気を入れてください。

目安として、タイヤを手で押してもやや硬い（軟式野球ボール程度の硬さ）に空気を入れてください。

空気圧が低すぎると駆動が重くなり、またブレーキの効きが悪くなります。

高すぎるとクッション性が悪くなります。

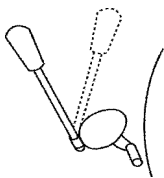
★タイヤの溝は十分認識できますか？

タイヤの減りが激しいものはパンクの原因になったり走行性やブレーキの効が悪くなるので交換が必要です。また、タイヤやキャストのひび割れにもご注意ください。

★車輪やキャストはしっかり固定されていますか？

車輪を留めているボルト、キャストを留めているボルトは緩んでいませんか？緩んでいると使用中突然車輪やキャストが外れて転倒するなど大変危険です。充分ご確認の上、しっかりと締めてください。

★ブレーキはしっかり効きますか？



タイヤの空気圧が下がると駐車ブレーキの効きが弱くなります。

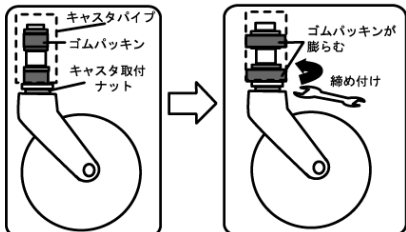
空気圧のチェックとともにブレーキの取付ネジの緩み、ブレーキ本体のガタなどがないかご確認ください。もし、異常がございましたら、直ちにご使用をお止め頂き、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★ステップ板（フットプレート）はしっかり固定されていますか？

異常がございましたら、直ちにご使用をお止め頂き、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★車輪やキャストはしっかり固定されていますか？

車輪を留めているボルト、キャストを留めているボルトは緩んでいませんか？緩んでいると使用中突然車輪やキャストが外れて転倒するなど大変危険です。充分ご確認の上、しっかりと締めてください。



（出荷時には十分に締め付けてありますが、ご使用されている間に振動により緩む場合がありますので、定期的に点検してください。）

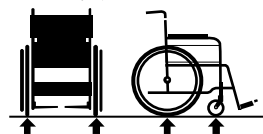
スパナでキャスト取付ナットを締めると、ゴムパッキンが膨らみ、キャストが固定されます。キャスト取付ナットをしっかりと締めてください。締め付けが弱いとキャストが外れる恐れがあります。

★変な音がしませんか？

変な音がする場合、どこでその音が発生しているかをご確認してください。ブレーキワイヤーが車輪に擦れている、ベアリング部の油分が不足しているなどの原因が考えられます。原因が不明な場合、修理不可能な場合はお買い上げの販売店までご連絡ください。

異常が見つかったらご使用を中止してください。

★四点接地していますか？



前輪二輪と中央輪が接地しているかご確認ください。

四点接地していない場合、フレームの歪みやネジの緩みが考えられます。直ちにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★まっすぐ進みますか？

平地で車いすを左右均等な力で押してください。自然に曲ってしまう場合、どこかが歪んでいる可能性があります。原因となっている箇所の修理・交換を行ってください。



★シートに破損やたるみ、傷みはありませんか？

車いすは湿気に弱いので、雨にぬれる場所などに放置していたり、長時間続けてご使用になるとシートに破損・たるみが発生します。座り心地を損なわない姿勢が保ちにくくなりますので、たるみ・破損が著しい場合は交換をおすすめします。

★ネジの緩みはありませんか？

ガタがある場合は、ネジの緩みや脱落が考えられます。ネジが緩んでいたら必ずしっかりと締めてください。締めてもすぐに緩む、締まらないなどの不具合があれば、直ちにご使用をお止め頂き、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★ハンドリムはしっかり固定されていますか？（18inのみ）

ハンドリムにガタがある場合、取り付けネジの緩みが考えられます。取付ネジをしっかりと締めてください。

★ワイヤーは切れていませんか？

ブレーキワイヤー、リクライニングワイヤーは切れていませんか？安全のために、1年に1度定期的に交換してください。

★洗浄の際には、水、お湯または中性洗剤をご使用ください。

洗浄後は、十分に乾燥させてください。カビやサビの原因になります。

⚠ 注意

- スパナやドライバーなどの工具の使用にて締め付ける場合、薄手の手袋をご使用ください。
- 異常が見つかったら、直ちにご使用を中止して販売店へご相談ください。

8.お手入れの方法

★金属部分（フレーム）

凹凸のある部分の汚れ、頑固にこびり着いた汚れは、市販の中性洗剤を用いてください。
ご使用後は必ず乾燥させてください。

★樹脂（プラスチック）部

樹脂（プラスチック）部品には、市販の中性洗剤をご使用ください。

★クッション、シート類

シート部分をぬるま湯で拭き、きれいな水で仕上げ拭きを行い、乾かしてください。

<汚れがひどいとき>

- 汚れがとれにくい場合は、中性洗剤を用いてください。その後、乾燥させてください。
- しみは、スポンジまたは柔らかいブラシを用いて取り除いてください。
- 洗う場合は、ぬるま湯で手洗いしてください。洗濯機、乾燥機の使用はお避けください。
- クッション表面に面ファスナー（オス）が接触しないようにしてください。（クッション生地のはつれ、けばだちの原因となります。）



注 意

- 熱湯やオゾンで洗淨しないでください。故障・変質・変色の原因となります。
- 絶対に背延長を取り外して使用しないでください。転倒の原因となります。
- 中性洗剤を使用してください。変質・変色・傷みの原因となります。
- シンナーやベンジンなどの揮発性のものは使用しないでください。変質・変色・傷みの原因となります。
- たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。傷みの原因となります。

9.保管についてのお願い

車いすは、お手入れ後、安全な場所に保管してください。



注 意

- 下記のようなところに車いすや部品を放置しないでください。

・車道に近いところ	・人通りのあるところ	・坂道
・路面に段差や凸凹のあるところ	・湿気の多いところ	・暑い日や寒い日の戸外
・海沿いの屋外（潮風の当たるところ）	・雨、風のあたる場所	・ほこりの多い場所
・非常口、消火器、消火栓の前	・直射日光の当たる場所（車内も含む）	
・ストーブなど火気を使用し高温になる場所		
・子供がいたずらをする恐れのある場所		

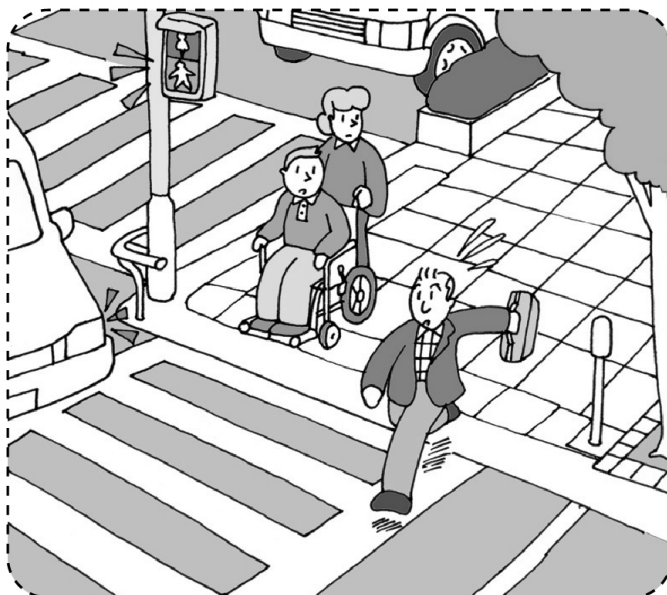
10.車いすの主な乗り方



警告

- タイヤの空気が十分入っているか確認しましょう。
- 下り坂は加速がつき危険です。いつでもブレーキがかけられるよう慎重に。
- いきなり公道に出るのは危険です。屋内や庭など安全な場所で練習しましょう。
- 車道はできるだけ通らず、歩道や十分な幅のある路側帯を通りましょう。

車いすは歩行者として取り扱われます。
歩行者としての交通ルールを守りましょう。



- 「自転車及び歩行者専用」、「歩行者専用」のマークのある歩行者専用道路も通ることができます。
- 信号機のある場所では、「青」が点滅中に横断するのは危険です。次の「青」信号を待ちましょう。

★焦らずゆとりを持った横断、
走行を心掛けましょう。



注意

- 車いすは、自動車と同じ乗り物ですから、定期点検が必要です。長期の使用によって劣化が生じます。異常が発生した場合は、直ちに使用を中止してください。

★移乗 車いすに乗る方を介助者がベッドなどから移す方法です。
双方にとって安全で負担の少ないことが重要です。



介助者が片足を相手の膝の間に差し込んで、腰を支えながら立ち上がらせます。



介助者の膝で相手を支えながら、車いすの方へお尻を向ける。



ゆっくりと腰を下ろしてもらおう。
※「いち、にのさん」と声をかけながら
おたがいに協力しましょう。

★外出（坂道） 車いすの安全な使い方は、“ゆっくり”“確実に”と“安全ベルト着用”が基本です。



＜上り坂＞

押す人は身体を少し前に倒して、押し戻されないよう、一歩ずつしっかりと押します

＜下り坂＞

坂を下るときはブレーキを軽く使いながら、後ろ向きに一歩ずつ下ります。

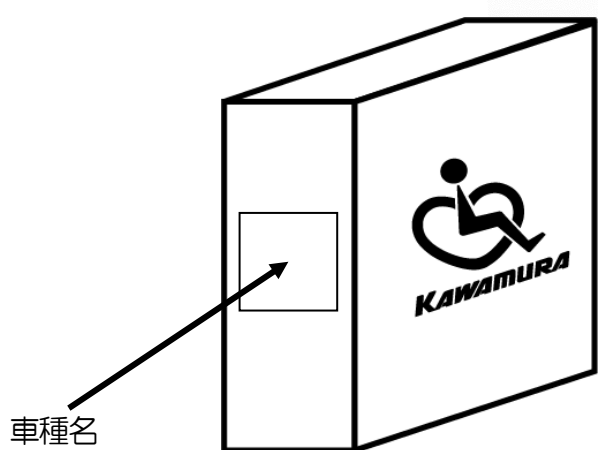
安全ベルトを必ずご利用ください。

11.製品記録

アフターサービスなどを的確に受けるため、車種・製造月を記録しておいてください。

車 種	
製 造 月	年 月

＜シール貼付位置＞



車種名



左下フレームパイプに貼付

****年 **月
株式会社 **カワムラサイクル**

12.仕 様

〈各部寸法〉・・・・・・・・・・・・・記載の寸法や状態は設計値であり、実際の車体とは多少誤差がある場合があります。

寸法表		
品名・名称	くつろぎ22	くつろぎ16
座 幅 (mm)	450	
前座高 (mm)	450	
レック長さ (mm)	390	
後座高 (mm)	400	
シート奥行 (mm)	420	
背もたれ高 (mm)	720	
肘掛け高 (mm)	200	
全高 (mm)	1,080	
折りたたみ (mm)	960	
全幅 (mm)	630	600
折りたたみ (mm)	630	600
全長 (mm)	1,290	1,220
折りたたみ (mm)	1010	1040
重量 (kg)	30.1	28.7

〈各部仕様〉・・

標準仕様・規格		
	くつろぎ22	くつろぎ16
フレーム	リクライニング式 カートタイプ	
折りたたみ方式	—	
後輪	22in エア（一般）ノーマル式 樹脂ホイール ハンドリム：黒色	16x1.50 エア（一般） ノーマル式
タイヤ	22x1 1/4 エアタイヤ	16x1.50 エアタイヤ
チューブ	22x1 1/4 英式バルブ	16x1.50 英式バルブ
ハンドリム	樹脂ホイール専用 黒色	—
前輪	6 ニューソフト、樹脂ヨーク、パッキン式	
キャスタ車輪	6 インチ ニューソフトキャスタ車輪	
ヨーク	6 インチ パッキン式樹脂ヨーク	
背シート	カーシート	
座シート	カーシート	
シートベルト	—	
肘掛け	上下式	
肘当て	木製肘当て	
駐車ブレーキ	C. カバーなし駐車ブレーキ	
ニギリ	グレー	
ガスショック	高圧ガス噴入式/反発力 15kg/ストローク 150mm	

●この車いすの後車輪のハブ軸は1/2 -20UNF のねじを使用しております（KL12を除く）。また、シート・バックサポート、主フレームのベースパイプ・ティッピングレバー部（KLを除く）、介助ブレーキのバンドカバー部（介助ブレーキ装着車）、背折れ金具部には十字穴付きタッピングねじを使用しております。

※この車いすはJIS T 9201:2006 に定める静的安定性試験において、10.1.2 a) の方法を用いて合格しております。

13.保証とアフターサービス

★保証期間

この商品には保証書を別途添付しております。保証書は所定の事項を記入のうえ、商品購入後 1 ヶ月以内に当社へご返送ください。

保証期間はご購入日より 1 年間です。

★保証期間後

ご購入の販売店にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

★保証の適用除外となる場合

- (a) ご使用による消耗品および取扱不注意による破損
例) タイヤの磨耗およびパンク、シート、ステップ板の破損等
- (b) 地震、台風、水害などの天災および事故、火災による焼失・破損
- (c) お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失など誤って使用されたことによる破損
- (d) 保全上の不備および弊社の特約販売店以外で行った修理や改造等による破損
- (e) 弊社が指定する純正部品以外のパーツ等の使用により発生した破損
- (f) 一般に車いすが走行しない場所、または特殊な状態での使用による破損
- (g) 製品本来の使用目的にそぐわない使用による故障および破損
- (h) 取扱説明書に従わずに使用して生じた故障および破損
- (i) 取扱説明書に禁じられている使用方法によって生じた故障
- (j) ご購入後 1 ヶ月以内に登録されていない場合
- (k) 日本国外でご使用の場合

★消耗部品

- | | | | |
|-----------|-----------|----------|---------------|
| ・前輪(車輪のみ) | ・後輪(車輪のみ) | ・背ベースシート | ・バンド式介助ブレーキ本体 |
| ・ベアリング | ・肘当てパッド | ・背クッション | ・ドラム式介助ブレーキ本体 |
| ・タイヤ | ・ふくらはぎパッド | ・座ベースシート | ・ワイヤー |
| ・チューブ | ・ステップセット | ・座クッション | ・メカニカルロック |
| ・虫ゴム | ・板バネ | ・足ベルト | ・ガスダンパー |

★補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの商品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5 年保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

★修理のご依頼

異常がある場合は、ご使用を中止しご購入の販売店にご依頼ください。

★本製品を他人に譲る場合

この製品を他の方にお譲りになる時は、必ず本書もあわせてお渡してください。

※一度使用したものは、原則として製品のお取り替えはできません。

地球の環境保護のため、
 廃棄するときはそのまま放置しないで
 各自治体の取り決めにしたがってください。

カワムラサイクル

■本社	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地3-9-1	TEL078-969-2800
■本店サービスセンター	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地3-9-1	TEL078-969-2820
■東京サービスセンター	〒110-0013	東京都台東区入谷1-8-3	TEL03-3874-3511
■名古屋サービスセンター	〒487-0027	愛知県春日井市松本町1-3-11	TEL0568-52-4800
■福岡サービスセンター	〒819-0055	福岡市西区生の松原1-18-3	TEL092-882-4722
■神戸工場 ■神戸第二工場 ■いなみの工場 ■メンテナンスセンター			

本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上の為に、一部予告なく変更することがあります。

修理・お手入れ・お取扱いなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、上記へ。